

5月 15-21日

歴代第二 22-24章

73番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「エホバは勇敢に行動する人に報いる」（10分）長谷川 瑛一B

宝石を探し出す（10分）河野 正和B

代二 24:22 こうして、エホアシュ王はゼカリヤの父エホヤダが示してくれた搖るぎない愛を忘れ、エホヤダの子を殺した。ゼカリヤは死に際にこう言った。「エホバがご覧になって、あなたに責任を問いますように」
ゼカリヤの預言はどのように実現したか。

(洞-2 27 ページ 1節) 大祭司エホヤダの息子。エホヤダの死後、エホアシュ王はエホバの預言者たちのことばよりむしろ間違った助言のほうに耳を傾け、真の崇拜からそれでゆきました。エホアシュのいとこであったゼカリヤは(代二 22:11)，そのことについて民に厳しい警告を与えましたが、彼らは悔い改めるどころか、ゼカリヤを神殿の中庭で石打ちにしました。ゼカリヤは死ぬ間際に、「エホバがこれをご覧になり、代償を求められるように」と言いました。この預言的な求めは聞き入れられ、①ユダはシリアに攻められて大損害を被っただけでなく、②エホアシュも「祭司エホヤダの子らの血のために」自分の二人の僕に殺されました。ギリシャ語セプトゥアギンタ訳とラテン語ウルガタ訳では、エホアシュはエホヤダの「子」の血の復しゅうとして殺されたと述べられています。しかし、マソラ本文とシリア語ペシタ訳では「子ら」となっています。ここで複数形が用いられているのは、恐らく、預言者であり祭司でもあった、エホヤダの子ゼカリヤの卓越性と真価とを表わすためでしょう。—代二 24:17-22, 25。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。(代二 24:22)でエホアシュ王はエホヤダにより命を救われ、その恵まれた環境でエホバからの繁栄を味わってきたのに、エホバの憐れみの警告を告げてくれたエホヤダの息子ゼカリヤを、かたくなにも悪い仲間にによって殺害させてしまった。

特に若いさんは、このエホアシュの例から、悪い影響を避けるだけでなく、現在の恵まれた環境に居る間に良い靈的な習慣や成長を通して、親や仲間に依存せずに一人で信仰の道を歩んでゆけるようになっていかなければならないこと、今の準備や取組み方が大切であることを認識したい

聖書朗読（4分）代二 22:1-12（教励 第5課）松橋 信弥B

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。宣教ツールボックスの出版物を提供する。（教励 第1課）大谷恵美子 S 1 小島奈帆美 S

再訪問（4分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。集会に招待する。（教励 第17課）竹林 亜矢子 S 17 石原 小夜子 S

話（5分）塔 10 2/15 6-8 ページ 6-10 節 主題：エホバの聖なる力によって大胆さを身に付ける。（教励 第8課）五味 統 B

クリスチャンとして生活する

55番の歌

会衆の必要（15分）「2023 統治体からの話（3）」

会衆の聖書研究（30分）暮 レッスン 45 ポイント 4, まとめ, 復習, 次のステップ 水品 安章 B

閉会の言葉（3分）

37番の歌と祈り

△（代二 22:1-24:27） エルサレムの住民はエホラムの一番下の息子アハジヤ*を代わりに王にした。アラブ人と共に陣営に来た略奪隊が上の息子たちを全員殺したからだった。エホラムの子アハジヤがユダの王として治め始めた。² アハジヤは22歳で王になり、エルサレムで1年治めた。彼の母はアタリヤといい、オムリの孫娘だった。³ アハジヤもアハブ家と同じ道を歩んだ。邪悪なことを行うよう彼の母が助言したからだった。⁴ 彼はアハブ家のように、エホバから見て悪いことを行い続けた。父の死後、アハブ家の人たちが助言者となってアハジヤを破滅に至らせたのである。⁵ アハジヤは彼らの助言に従い、イスラエルのアハブ王の子エホラムと共にラモト・ギレアデに行って、シリアのハザエル王と戦った。エホラムはそこで弓を射る人たちに撃たれて傷を負った。⁶ エホラムは傷を治すためエズレルに戻った。ラマ*でのシリアのハザエル王との戦いで傷を負わされたからだった。アハブの子エホラムが負傷していた*ため、ユダのエホラムの子アハジヤ*王はエズレルに見舞いに行った。⁷ しかし神は、アハジヤがエホラムを訪ねることによって破滅に至るようにした。アハジヤは到着すると、エホラムと共にニムシの孫エヒウに会いに行つた。エヒウは、エホバがアハブ家を滅ぼすために選んだ*人だった。⁸ エヒウはアハブ家の処罰を始めると、ユダの高官たち、アハジヤの兄の息子たち、アハジヤの奉仕者たちを見つけて殺した。⁹ それからエヒウはアハジヤを捜した。エヒウの部下たちはサマリアに隠れていたアハジヤを捕らえ、エヒウのもとに連れてきた。そして彼らはアハジヤを殺した。「彼は心を尽くしてエホバに仕えたエホシャファトの孫です」と言い、葬った。アハジヤの家族には王国を治める力を持つ人は一人もいなかった。¹⁰ アハジヤの母アタリヤは自分の子が死んだのを知り、ユダの王家の子孫を皆滅ぼそうと立ち上がった。¹¹ しかし、王の娘エホシャブアトは、殺されようとしている



神の言葉の宝

エホバは勇敢に行動する人に報いる

エホシャブアトと夫のエホヤダは、エホアシュをアタリヤから守った。 (代二 22:11, 12。塔 09 4/1 24 ページ 1-2 節)

エホヤダは勇敢に行動し、エホアシュを王とした。 (代二 23:1-11, 14, 15。塔 09 4/1 24 ページ 3-5 節)

エホヤダは、王たちと共に葬られるという特別な栄誉を受けた。 (代二 24:15, 16。洞-2 862 ページ 6 節)

<https://kanamori.jwdbs.com/katsuhikotanakainformation/%83A%83n%83u%89%C6%91S%91%CC%82%CD%96%C5%82%D1%82%E9mwb2022112807.pdf>

じっくり考えてみよう: エホバに仕える上で、もっと勇気を示したいと思うどんな場面があるだろうか。

（代二 22:11, 12）しかし、王の娘エホシャブアトは、殺されようとしていた王の子たちの中から、アハジヤの子エホアシュを抱いてひそかに連れ出し、その子と乳母を奥の寝室に入れた。そしてエホラム王の娘エホシャブアトは、エホアシュをアタリヤに殺されないようくまつた。エホシャブアトは祭司エホヤダの妻で、アハジヤの姉妹である。¹² エホアシュは彼らと共に真の神の家に6年隠れていた。その間、アタリヤが国を治めていた。